

平成27年度 東京都立千早高等学校 学校経営報告

平成28年3月31日

校長 五十嵐 善一郎

開校12年目を迎えた今年度、創立20年に向けた「進化し続ける千早」の方向性を示すことができた。また、本年度は、東京都教育委員会から「東京グローバル10」「オリンピック・パラリンピック教育推進校」の研究指定を受け、組織的に実践研究を行ってきた一年であった。これらの経験を踏まえ、開校13年目の平成28年度は、校内OJT体制のより一層の充実を図り、様々な課題を迅速かつ組織的に解決するモチベーションの高い「チーム千早」を構築する。以下に、平成27年度の取組とその成果及び課題等について報告する。

1 今年度の取組と自己評価

(1) 教育活動への取組と自己評価

	取 組	自己評価
学校経営 (学校運営)	<ul style="list-style-type: none"> ① 広報活動について、総務情報部を中心に、全校体制による学校説明会等を組織的に取り組んだ。 ② 授業力向上について、各教科における人材育成、授業公開や若手教員研修を活用した教員相互による授業参観による授業参観等を行った。 ③ 個人情報について、校内諸規定を遵守するとともに、通年でクリーンデスクを行った。 ④ 校内OJT体制について、分掌及び委員会、研究指定事業等を効果的に活用した。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 推薦及び学力ともに昨年度よりも入試倍率が上がった。文化・スポーツ等特別推薦については、検証・改善が必要である。 ② 同じ教科内の人材育成は順調に進められている。新しい指導方法（アクティブラーニング等）の研究について取り組む必要がある。 ③ 「千早ハンドブック」を作成し、校内諸規定を遵守し、通年を通してクリーンデスクを行うことはできたが、個人情報の管理に課題が残った。 ④ 分掌・教科に問わず横断的にOJTを展開した。
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ① 教養教育について、各教科で意識して授業を展開した。朝礼やHR等で、将来の進路等と結び付け、その重要性を生徒に伝えた。 ② 学校設定科目「ERP（多読と発表）」について、指導体制及び指導方法の充実を図った。 ③ ビジネス教育について、学校設定科目「コミュニティデザイン」や課題研究（「ソーシャルビジネス」）で展開した。 ④ 学力スタンダードについて、第1・2学年必修科目の学習目標を明確に示し指導と評価を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 各教科で取り組んでいる教養教育の指導内容を精査し、組織的・系統的に展開する必要がある。 ② 第3学年で履修する「ERPⅢ」の指導内容を検証し、「多読と発表」の指導について、より体系的に進める必要がある。 ③ 地域、企業、大学や行政と連携を図り、実社会と関わりをもちながら学習内容の深化を図ることができた。 ④ 学力調査の結果を踏まえ、生徒の学力を正確に把握し、指導内容・方法の改善を図る必要がある。
生活指導・進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ① 教育相談について、保健厚生部を中心に、スクールカウンセラーを活用し、丁寧に対応した。 ② 生活指導について、生活指導部を中心に、各学年と連携を図りながら、規範意識等を育成した。 ③ 進路選択について、進路指導部を中心に、「進路ロードマップ」に基づき、系統的な指導を展開した。 ④ 進路実現について、小論文対策委員会を中心に、多様な受験にきめ細かく対応し、組織的に指導した。生徒の進路希望に応じて一般受験にも対応した。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 教育相談センター等の関係諸機関と連携した。早期発見・早期対応を行っていく必要がある。 ② 朝の正門指導を行い「生活指導統一基準」に沿った生活指導を行うことができた。生徒会や部活動を中心にさらに主体性を育む必要がある。 ③ キャリアセミナー等の実施により、大学卒業後を見据えた進路選択の在り方、いま取り組むべき内容についても指導することができた。 ④ 国語科の基礎指導と他教科の専門指導を関係付けて指導し、進路実績も着実に伸ばすことができた。

特別活動・その他	<p>①学校行事について、「行事で育てる」の方針の下、集団生活における規律ある行動や態度を育成した。</p> <p>②各教科の融合について、英語科とビジネス科のコラボレーションによるカリキュラム開発を行った。</p> <p>① 域等との連携について、豊島区（東長崎、要町、池袋周辺）を中心に掛り、様々な活動を行った。</p> <p>④予算執行について、予算編成指針のもと編成された予算執行計画に基づき、適正に執行した。</p>	<p>①ホームルームや実行委員会において、リーダーシップを発揮できる生徒を育成する必要がある。</p> <p>② 融合の視点を持ち、ビジネスコミュニケーション科として、特色ある授業内容を開発していく必要がある。</p> <p>③ 地域の課題解決により、グローバルな視点をもったグローバル人材の育成を図った。</p> <p>④ 計画的な予算執行及び費用対効果を一層踏まえて予算執行する。センター執行の割合を増やす必要がある。</p>
----------	---	---

(2) 重点目標への取組と自己評価

取 組	自己評価
<p>① 広報活動の充実について、総務情報部を中心に、本校の特色ある教育活動を広く都民に発信した。</p> <p>② ICT活用について、各教科において、実践的な活用に取り組んだ。</p> <p>③ 学校図書館について、司書教諭を中心に業務委託と連携し、授業の活用や不読者率の減少に取り組んだ。</p> <p>④ 英語教育について、「東京グローバル10」指定校として、海外語学研修の引率やJETプログラムの効果的な活用に取り組んだ。</p> <p>⑤ 生命尊重をはぐくむ教育について生活指導部を中心に、関係機関等と連携した実践的・体験的な学習に取り組んだ。</p> <p>⑥ 「人間と社会」について、CSL委員会を中心に、道徳教育、キャリア教育を含めた内容を行った。</p> <p>⑦ 海外修学旅行について、第2学年を中心に、語学交流や異文化体験、企業訪問や施設見学を行った。</p> <p>⑧ 部活動について、生活指導部を中心に、部長会を通じてリーダーを育成し、部活動の活性化に取り組んだ。</p>	<p>① 特色ある授業や学校行事を取り上げて、新着情報として、学校ホームページに随時紹介してきた。よりわかりやすいホームページへの刷新が課題である。</p> <p>② 各教室でICT機器を活用し、生徒の興味・関心を高める授業を展開することができた。各教科のコンテンツの共有や指導方法の工夫を図る必要がある。</p> <p>③ 放課後の活用等の工夫を図り、家庭の自学自習時間の不足を補い、学習習慣の定着を図る必要がある。</p> <p>④ 海外語学研修やJETを活用した英語の授業づくりなど、先進校としての役割を果たした。</p> <p>⑤ セーフティ教室等を実施し、安全教育に関わる教育内容の充実を図った。</p> <p>⑥ 「人間と社会」の内容を検証し、より効果的な内容に改善していく必要がある。</p> <p>⑦ 多種多様な人々とのコミュニケーションを通じて、生徒は異文化を理解し、国際社会への関心を深めた。</p> <p>⑧ 体罰等のない適切な指導により、部活動を通じて、心身の健やかな成長と協調性等を身に付けさせた。</p>

(3) 数値目標の達成状況

	項 目	目 標 ※()は昨年度	実 績
入学時	① 推薦入試倍率	3.0倍以上 (2.63倍)	2.90倍
	② 学力検査倍率	1.3倍以上 (1.27倍)	1.41倍
在学时	③ 自律経営推進予算の執行率	100% (99.60%)	93.01%
	④ 生徒による授業評価の満足度	90%以上 (88.3%)	83.6%
	⑤ 家庭等での学習時間	1時間以上 (38分)	27分
	⑥ 教育相談の肯定的評価	80%以上 (53%)	72.2%
	⑦ 部活動加入率	80%以上 (81.3%)	82.0%
	⑧ 夏季英国研修参加者	20名以上 (33名)	22名
	⑨ 実用英語検定準2級以上受験者	350名以上 (406名)	242名
卒業時	⑩ 進路決定率	100% (98.0%)	98.5%
	⑪ 進学希望者の進路決定率	100% (96.7%)	98.9%

2 次年度以降の課題と対応策

課 題	対 応 策
① 教育課程の検証	① 平成27年度に完成年度を迎えた。各教科・科目の内容や配置等について、検証し、改善を図る。
② 進路指導の充実	② 新たな大学入試制度を踏まえ、各種模擬試験の在り方や多様な受験方法への対応を検討する。
③ 募集対策の改善	③ 入学者選抜における課題を整理・改善するとともに、学校ホームページのリニューアルを行う。
④ 各教科間の連携	④ 英語とビジネスをはじめ各教科間の連携を深め、ビジネスコミュニケーション科としての特色化を図る。
⑤ 道德教育、キャリア教育、教養教育の充実	⑤ 各教科をはじめ全ての教育活動において、意図的、計画的、組織的、横断的、系統的に展開する。
⑥ 校内OJT体制の充実	⑥ 東京グローバル10やオリンピック・パラリンピック教育推進校の取組を推進し、人材育成を充実する。
⑦ グローカルの追究	⑦ グローバルな視点にローカルの視点を加えた「グローバル」な視点による教育活動をより一層展開する。
⑧ 新しい学びへの対応	⑧ ERP、ICT、アクティブラーニング等に対応した教室等の環境整備を充実する。

3 数値で見る学校経営（過去5年間）

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
入選倍率	推 薦	2.35倍	3.11倍	2.52倍	3.08倍	2.63倍	2.90倍
	学 力	1.11倍	1.23倍	1.18倍	1.50倍	1.27倍	1.41倍
	中学校長会調査	0.83倍	1.06倍	0.99倍	1.23倍	1.00倍	1.15倍
進路別卒業生数	大 学	112名(57.4%)	99名(49.3%)	106名(54.9%)	121名(61.2%)	126名(62.6%)	-
	短 大	11名(5.6%)	16名(8.0%)	7名(3.6%)	15名(7.6%)	14名(6.9%)	-
	専門学校	50名(25.6%)	64名(31.8%)	48名(24.9%)	41名(20.7%)	48名(23.8%)	-
	就 職	5名(2.6%)	2名(1.0%)	6名(3.1%)	4名(2.0%)	4名(1.9%)	-
	その 他	17名(8.8%)	20名(9.9%)	26名(13.5%)	17名(8.5%)	9名(4.4%)	-
	計	195名	201名	193名	198名	201名	-
検定取得状況	英検準2級以上受検者	319名	395名	564名	406名	242名	-
	英 検 準 1 級	0名	0名	1名	1名	0名	-
	英 検 2 級	19名	33名	40名	32名	25名	-
	英 検 準 2 級	65名	95名	123名	80名	64名	-
	英検準2級以上取得卒業生	97名	103名	103名	140名	82名	-
	全商簿記1級	17名	14名	23名	26名	27名	-
	全商簿記(ビジネス文書)1級	7名	4名	1名	6名	0名	-
	全商電卓1級	4名	3名	5名	0名	0名	-
文化祭来場者	2,463名	2,463名	2,570名	2,866名	2,696名		
学校図書館貸出冊数	2,301冊	1,492冊	1,578冊	2,808冊	1,955冊		
生徒による授業評価(満足度)	86.7%	87.0%	87.2%	88.3%	83.6%		
自律経営 推進予算	予算額	22,091,000	21,826,000	21,555,000	21,871,000	21,423,000	21,377,000
	決算額	21,423,347	21,232,400	21,356,468	21,782,611	19,923,302	-
	執行率	96.98%	97.28%	99.08%	99.60%	93.01%	-

4 特色ある教育活動の主な実績

英語	<ul style="list-style-type: none"> ○東京都教育委員会「次世代リーダー育成道場」研修生（第4期生）として、オーストラリアに2名が1年間留学 ○公益財団法人全国商業高等学校協会「英語スピーチコンテスト東京都大会」入賞（スピーチの部） ○公益財団法人全国商業高等学校協会「英語スピーチコンテスト」全国大会決勝出場（レシテーションの部） ○一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会「第7回IIBCエッセイコンテスト」奨励賞 ○このほか、各種英語スピーチコンテストやレシテーションコンテスト、英作文コンテスト等に参加 等
ビジネス	<ul style="list-style-type: none"> ○ながさきむら村議会との連携による「東長崎駅北口広場ランチタイムコンサート」の企画・実施 ○株式会社ユニクロとの連携による「古着回収プロジェクト」での古着を回収・発送 等 ○クエストカップ2016 優秀賞受賞 ○東京都商業研究発表会「高校生未来座」優秀賞受賞
部活動他	<ul style="list-style-type: none"> ○【演劇部】東京都高等学校文化連盟「東京都高等学校演劇コンクール東京都中央地区大会」優秀賞 ○【剣道部】東京都立商業高等学校体育活動連絡会「剣道大会」女子個人第3位 ○【吹奏楽部】東京都高等学校吹奏楽連盟「東京都高等学校吹奏楽コンクール」銅賞 ○【水泳部】東京都甲乙学校選手権（高体連）女子200m自由形8位 関東大会出場 旧三学区都立高等学校「水泳競技大会」女子総合優勝（5連覇） ○【ダンス部】東京都高等学校保健体育研究会「東京都高等学校舞台研究発表大会」12年連続出場 ○【軽音楽部】豊島区おおつか音楽祭2015 奨励賞 ○【バドミントン部】東京都立商業高等学校体育活動連絡会「バドミントン大会」 ○【硬式テニス部】東京都立商業高等学校体育活動連絡会「硬式テニス大会」女子団体、男子団体ベスト16